



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

■ 第 204 号 ■

団結を新たに

本部 課長補佐 工藤 由希子

1月9日(金) フォル
トーナを会場に「株式会
社ファルマ2026年新
年懇親会」を開催しまし
た。はじめに、崎野社長
より2026年度調剤報
酬改定について、「何もし
なければ薬局は急激な経
営悪化を招く、経営を守っ
ていくためにも皆で力を
合わせて頑張りましょう」
とのご挨拶がありました。
次に、ファルマ浪岡薬局
の高橋薬局長より、新薬
局についての紹介があり、
日々の準備の苦労などお



ペーパータワー、どこまで高く積めるかな？



崎野社長よりご挨拶をいただきました



抽選会を盛り上げてくれた村上主任補佐と菅原主任補佐(左から)



数を数えてくれた猪股薬剤師と下山薬剤師(左から)

もし災害が起ったら……薬剤師としてできること
ファルマ弘前薬局 薬剤師 下山 蒼生

11月27日(木)〜29日(土)に神戸ポートピアホールで行われた、第41回全国青年ジャンボリーに参加しました。今回の全国青年ジャンボリーは、6年ぶりに現地での開催となりました。

1日目は、阪神淡路大震災と民医連の災害支援についての学習講演を拝聴し、班ごとにワークショップを行いました。



余興の司会は中西さんと神主任(左から)

話してくださいました。その後は、余興のペーパータワーや恒例の豪華抽選会などで大いに盛り上がり、職場を越えて楽しく交流することができました。最後には工藤部長より「皆で乗り越えていきましょう」と激励の挨拶がありました。

た。ワークショップでは災害時のシナリオが用意され、被災者の生活で問題となつているところを探し出し、医療職として何ができるかを多職種で話し合いました。その後は夕食・大交流会に参加し、班員との交流を深めることができました。

2日目の午前中は神戸市内でフィールドワークを行

12日は、沖縄民医連の名嘉事務局長より、ピラ配布前に沖縄の情勢学習があり「戦後80年、沖縄の現状から考える平和と進められる軍事国家づくり、自衛隊と米軍の一体化」の講義を受けました。内容は、沖縄戦の特徴や米兵性暴力問題について、防衛費増がもたらす課題、辺野古新基地についてお話ししてくださいました。講義後、辺野古地区と、午後は真喜屋区へピラ配布

12月12日(金)から13日(土)に沖縄県名護市にて、名護市長選挙支援行動に参加しました。12日の参加人数は36人で、13日は55人と増えましたが、青森民医連からは私1人の参加でした。

全国の仲間と協力した選挙支援

ファルマ弘前薬局 中西 茉莉

を行いました。午前中の辺野古地区へのピラ配布終了時に辺野古新基地前の座り込みが行われていました。また、遠くから辺野古新基地を建設しているところも見る事ができました。13日は、大西地区と呉我地区へのピラ配布とハンドマイクでの街宣活動を行いました。

2日間名護市長選挙に関わる支援活動や学習を通じて、選挙が地域住民の生活や将来に大きくかかわる重要な機会であることを改めて認識しました。名護市は、辺野古基地問題をはじめとする国の政策と深く関係する課題を抱えており、基地問題が安全保障だけでは

い、午後は人と防災未来センターへ訪問しました。街中に未だに阪神淡路大震災の痕跡が残っていた様子が印象的で、人と防災未来センターの資料や映像でも当時の被害の残酷さを目の当たりにしました。

3日目は、スマートフォン(SGD)で今回の学習を班ごとに振り返りました。今回のジャンボリーを通して、民医連としての災害支援について深く学び、医療職として何ができるかを考えることができました。

なく、騒音や事故への不安、住民の生活環境や福祉、将来への不安と密接に関わっていることを改めて感じる事ができました。翁長久美子さんに直接お会いすることはできませんでしたが、翁長久美子さんの取り組みにも触れ、市民の声や生活実態を大切に政治の必要性を訴えていく日常生活に直結する課題など感じました。



青森から参加した皆さんと一緒に



笑顔で街宣する中西さん

もし災害が起ったら……という想定をし、他職種との連携をしながら自ら行動できる薬剤師を目指していきたいと思えます。

青森県ヘルスケア経営戦略セミナー

代表取締役 崎野 修

1月22日(木)青森みちのく銀行主催で開催され、200名を超える地域の医療関係者が参加して関心の高さを感じました。第一部では新たな地域医療のあり方として、県内の人口減少と高齢化問題を取り上げながら、医師偏在化と人材不足より地域医療の維持が更に困難になることが予想され、医療機関の役割分担と連携、オンライン診療などICT化の推進が重要なカギになるとされました。第二部では全国7割の病院が赤字に陥っている要因として物価高と人件費高騰に診療報酬が追い付いてないことが挙げられ、特に地方ほどその傾向が顕著であることが指

摘されました。竹内院長からは地域の急性期を支える健生病院の医療と経営課題について発言がありました。全体を通じて県内における地域医療は大きな転換期を迎えており、2040年まで増加する高齢者対応に中心とした経営構造の改革が必須であると感じました。

地域の医療関係者が集まりました



地域の医療関係者が集まりました

新入職員紹介



ファルマ弘前薬局
くろたき なつみ
黒滝奈津美

はじめまして、黒滝奈津美と申します。昨年の11月からファルマ弘前薬局に勤務しています。まだまだわからないことが多いですが、一日でも早く仕

事を覚えられるよう精一杯頑張ります。趣味は読書です。ミステリーやSFを読むことが多く、今は3月に映画が公開されるプロジェクト・ヘイル・メアリーを読み始めたところですが、他にもまだ読んでいない本がたくさんあるので、読み終わる前にどんどん買ってしまおうかなかなか減りません。次は物欲の抑え方の本を探したいと思います。

10才のわたし

居宅介護支援事業所ファルマ 工藤 兼紀

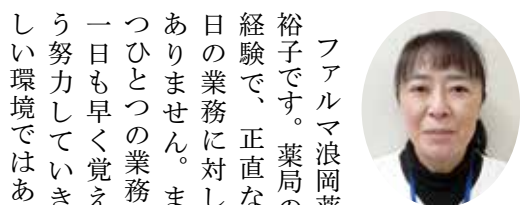
写真はおそらく小学4年生頃の校内相撲大会のものだと思います。写真をみながら当時を振り返ってみると少しずつ記憶が蘇ってきます。

先ず、思い出したのは写真の表情にも表れていますが、嫌々やったなという記憶です。相撲大会の選抜方法は推薦でした。他のメンバーは実力のあるやんちゃなメンバーでしたが、ご想像通り、私は見た目小結での推薦でした。思えばこの頃は見た目で学内演劇の「こぶとりじいさん」役も推薦され、やりたくないものは推薦やくじ引きで絶対自分に来るなど思っていたものでした。話は相撲大会に戻りますが、思えばやっている最中は意外にも楽しかったのも覚えています。



準優勝の工藤さん

試合は団体戦のみで即席チームでしたが皆で勝ち星を重ねて勝ち上がっていく、お互いに声をかけあい、一体感を感じたのが楽しかったのも覚えています。これをきっかけにチームで戦う団体競技が好きになり、団体競技では良いパフォーマンスを発揮できていた気がします。中学では卓球もやっていましたが、個人戦よりも団体戦の方が、闘志が湧き、良い結果を出せて県大会によく行っていました。この経験もあってか今もチームで何かをするのは好きです。また、嫌なことも挑戦してみれば楽しめることもあると学んだ経験もありました。チームで取り組むやりがいは今の仕事にも少なからず繋がっているのかなと振り返りました。



ファルマ浪岡薬局
つしま ゆうこ
對馬 裕子

ファルマ浪岡薬局の對馬裕子です。薬局の業務は未経験で、正直なところ毎日の業務に少し不安しかありません。まずは、一つひとつの業務を誠実に、一日も早く覚えられるよう努力していきます。新しい環境ではありますが、

日々の積み重ねを通して、確実に業務をこなせるよう精一杯努めます。至らぬ点もあるかと思いますが、よろしく願っています。

写真紹介

11/29 憲法9条守れ!戦争法廃止集会とパレード

弘前駅前りんご広場で第91回の集会とパレードが開催されました。今期最後ということもあり、ファルマからも多くの職員が参加しました。次回は3月28日に開催されます。



来期もまた頑張るぞ!

11/15 平川市教育委員会へ出前講座

平川市碓ヶ関公民館で出前講座が開かれ、ファルマ弘前薬局の神主任が薬の正しい飲み方や飲み合わせ、使い方について具体例を交えて解説し、お薬手帳の活用や保管方法の重要性も紹介しました。



マンツーマンで講義しました

11/21 有料老人ホーム笑美の郷へ出前講座

有料老人ホーム笑美の郷で職員向け出前講座が開催され、黒石薬局の成田薬剤師が頭痛薬と下剤の特徴や正しい使い方について実例を交えて解説し、適切な服用判断の重要性を伝えました。



施設職員へ向け丁寧に話す成田薬剤師(右奥)

11/26 津軽みらい農協へ出前講座

津軽みらい農協本店で女性営農生活講座が開催され、藤代薬局の菅原主任補佐が薬の正しい飲み方や使用方法、受診が必要な風邪症状について具体例を交えて分かりやすく解説しました。



たくさんの質問に答える菅原主任補佐

12/4 津軽保健常盤支部へ出前講座

亀田地区交流センターで出前講座が開催され、ファルマ浪岡薬局の雪田主任補佐が薬の正しい飲み方や使用方法、サプリメントとの飲み合わせについて身近な例を交えて解説し、お薬手帳活用の重要性も伝えました。



アットホームな雰囲気です講義ができました

1/25 津軽保健五中支部へ出前講座

サンライフ弘前で出前講座が開催され、ファルマ弘前薬局の葛西副薬局長がOTC医薬品の特徴や医療用薬との違い、OTC類似薬の保険適用除外の動き、セルフメディケーション税制について分かりやすく解説しました。



とても関心の高い内容でした